

2022年度 地域密着型金融の取組状況について

2022年度における地域密着型金融の取組状況につきまして、以下のとおりご報告いたします。

1. ライフサイクルに応じたお取引先企業の支援強化

(1) 創業期における支援

〔創業・新事業支援〕

- ・2023年3月末現在での創業・新事業支援先は7先となっており、業種としては小売業、飲食業、福祉・介護事業、自動車販売業と多岐にわたります。
- ・2022年度の、創業・新事業支援先に対する資金支援は、7先・36百万円の実績となりました。

(2) 成長期における支援

〔販路開拓支援〕

- ・信金中央金庫の優先出資者に配布される「優待カタログ」への掲載商品を求める企画に2社採用となっております。
- ・WEBを活用した商談会のご案内を行っております。
- ・当金庫営業店舗間（当金庫お取引先間）や信金中央金庫と連携したビジネスマッチングにて販路拡大支援を行っております。
- ・2022年度は上記の取組み等により、6先の販路開拓につながっております。

〔補助金申請サポート〕

- ・事業再構築補助金、ものづくり補助金、事業承継・引継ぎ補助金、先端設備等導入計画、経営力向上計画、経営革新計画などの申請サポートを実施しており、2022年度の申請サポート実績は10先となっております。

〔産学連携サポート〕

- ・東京農業大学生物産業学部、北見工業大学と包括連携協定を結んでおり、両大学へ技術相談等を考えているお取引先企業の相談サポートを行っております。
- ・東京農業大学生物産業学部、北見工業大学と連携して技術開発や商品化に取り組む企業を支援する「産学連携事業助成制度」を2012年4月に創設しており、2022年度までに累計10事業を採択しております。

(3) 転換期における支援

〔経営改善支援〕

- ・お取引先企業 9 先の了解のもと、定期的な訪問を行い、財務改善、安定経営に向けた経営改善支援に取り組んでおります。

〔外部専門家派遣〕

- ・お取引先企業の様々な課題に対し、外部専門家と連携するなか課題解決に努めており、北海道よろず支援拠点、北海道信用保証協会経営改善支援事業等を活用しております。2022 年度は 13 先の課題に対して専門家の派遣・相談を実施しております。

(4) 事業承継期における支援

〔事業承継支援〕

- ・道内 11 信用金庫と一般社団法人しんきん支援ネットワークで組織する「しんきん支援ネットワーク」にて、M&Aを含む円滑な事業承継対策の支援を行っております。
- ・2022 年度は 55 先に対し個別訪問（しんきん支援ネットワークなどの外部専門家、当金庫独自の個別訪問等）を行い、事業承継に関する課題解決に努めております。

2. 地域活性化へ向けた積極的な取組み

〔地方自治体および商工会議所との連携〕

- ・2022 年度は網走市及び網走商工会議所とそれぞれ情報交換会を開催し、地域振興の取組みや企業支援の取組みに等について情報交換を行っております。
網走市、網走商工会議所との情報交換は、諸々の課題解決に向けての確認もでき、地域金融機関として大変有意義なものであることから、継続して取組みしております。
- ・網走商工会議所および網走市と連携し、中小企業大学校サテライト・ゼミを開催しております。経営環境の変化に適応したこれからの経営のあり方や次世代トップリーダーとして求められる役割・心構えについて、実践的な知識の習得を目指す内容で実施しております。
- ・当金庫が指定金融機関を担う網走市、美幌町、大空町、小清水町、清里町の職員の方と「地域の未来を考える勉強会」を開催し、各自自治体の取組事例や課題認識等について意見交換を実施しております。
- ・信用金庫の中央金融機関である信金中央金庫が創立 70 周年記念事業として実施した、『企業版ふるさと納税を活用した地域創生支援スキーム「SCBふるさと応援団」』に、網走市の「デジタル技術を活用した関係人口創出事業」が選ばれ、寄附金が贈呈されました。
- ・当金庫では地域の地方創生を目指し、地域活性化につながる取組みを継続しております。



〔左は情報交換会、中央は 5 自治体との勉強会、右は「SCBふるさと応援団」寄付金贈呈式の写真〕

〔地域情報誌の発行〕

- ・網走信用金庫地域情報誌「地域の扉」を発行しております。
- 当金庫営業エリアの様々な情報を発信し、地域の活性化につなげる取り組みを行っております。

網走信用金庫 地域情報誌 **地域の扉** 2022 6月 Vol.23

二巻目にお楽しみください

道東地区とエゾシカ

～北海道全域でみられるシカ～

道東の様々な地域で見られるエゾシカは、オホーツク圏域でも多く見られます。またオホーツク圏域と網走圏域を結ぶ道東自動車道沿いに多くの観光客が多く、乗用車との衝突事故も多く発生しています。今回はエゾシカの生態や、衝突事故防止の取組などをご紹介します。

エゾシカの生態
北海道にはオホーツク圏域、網走圏域、道南圏域、道央圏域、道庁圏域の5つの圏域があります。エゾシカは、道庁圏域に多く生息しています。道庁圏域は、道庁所在地である札幌市を中心とした道庁管内を指し、日本国内に生息するシカの約7割がここに生息しています。

エゾシカは、北海道全域で見られるシカです。オホーツク圏域でも多く見られます。またオホーツク圏域と網走圏域を結ぶ道東自動車道沿いに多くの観光客が多く、乗用車との衝突事故も多く発生しています。今回はエゾシカの生態や、衝突事故防止の取組などをご紹介します。

エゾシカと人の関わり
エゾシカは、北海道全域で見られるシカです。オホーツク圏域でも多く見られます。またオホーツク圏域と網走圏域を結ぶ道東自動車道沿いに多くの観光客が多く、乗用車との衝突事故も多く発生しています。今回はエゾシカの生態や、衝突事故防止の取組などをご紹介します。

鹿肉の利用
エゾシカの総体数は平成以降急激に増加しており、様々な被害が見られることから、毎年10万頭を超える数が捕獲されています。捕獲した鹿肉を有効活用するため、北海道各地で様々な取組が行われています。

鹿肉のしゃぶしゃぶ
鹿肉の赤身のしゃぶしゃぶです。さっぱりとした味わいが特徴です。

車を運転するとき
エゾシカは自動車との衝突事故が多発に多い動物で、人身事故になる場合もあります。車を運転する時は、次の点に注意しましょう。

鹿肉のドッグフード
エゾシカ肉を活用したドッグフードです。

網走信用金庫 地域情報誌 **地域の扉** 2022 12月 Vol.24

二巻目にお楽しみください

網走市とワカサギ

～北海道一のワカサギ漁獲地～

網走が誇る名産の一つ「ワカサギ」。冬の網走の水上ワカサギ釣りは一大会場となり、観光客も訪れています。今回は、ワカサギの生態や、釣り方、調理法などをご紹介します。

ワカサギの生態
網走の水上ワカサギ釣りは、冬の網走の一大イベントです。ワカサギは、北海道の各地に生息する魚類です。網走市は、北海道一のワカサギ漁獲地です。

ワカサギとワカ
ワカサギは、北海道の各地に生息する魚類です。網走市は、北海道一のワカサギ漁獲地です。

ワカサギ料理
ワカサギの天ぷら、ワカサギの南蛮漬け、ワカサギの佃煮など、様々な調理法があります。

ワカサギ釣り
網走市は、北海道一のワカサギ漁獲地です。冬の網走の水上ワカサギ釣りは、観光客も訪れています。

〔網走信用金庫地域情報誌 地域の扉〕

以上